

# シンデレラ

原作 シャルル・ペロー  
文庫 いとうとよこ



ところが、あるひ そのおとうさまが とつぜん じこで なくなっていました。  
そのひから、あたらしいおかあさまと おねえさまたちは わがままの しほうだい。

「これからは このおやしきは わたしたちのものだ。  
おまえは これから わたしたちのめしつかいになるんだ」

そういつて おんなのこのドレスも ベッドも みんな とりあげてしまいました。  
おんなのこは かわいそうに ボロボロのようふくで だんろのそばで ねむりました。  
はいだらけになった おんなのこを みて、3にんは わらいながら いいました。

「きょうから おまえのなまえは シンデレラだよ」

「シンデレラ」は「はいかぶり」という いみなのです。



「シンデレラ、さっさと  
しょくじのよういをおし！  
はらぺこだよ」

「シンデレラ、  
わたしのへやの そうじも  
やってよ！」

「シンデレラ、  
わたしのパジャマ  
はやく せんたくしてよ！」



とりのこされたシンデレラが しくしく ないと、  
どこからか まほうつかいのおばあさんが あられました。

「かわいそうなシンデレラ、わたしが ぶとうかいに いかせてあげましょう」

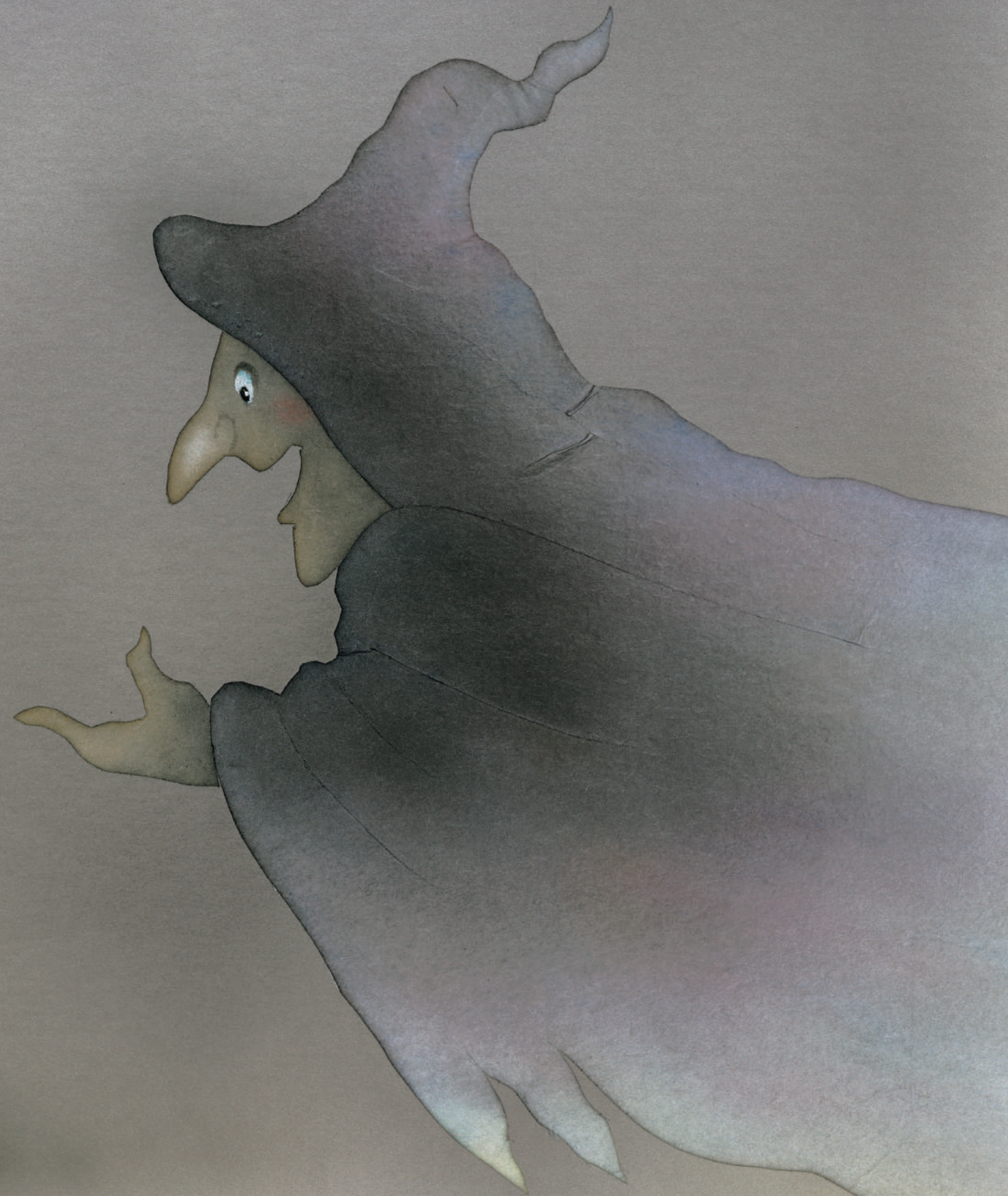
「えっ！ でも わたし おかあさまから  
いえのおそうじと せんたくを いくつか いられているから むりだわ」

「だいじょうぶ。それは わたしが やっておくから」



「それに、ドレスもないわ……」

「だいじょうぶ。まかせてちょうだい！」



まほうつかいのおばあさんが ふしぎなつえを ひとふりすると、

あらあら ふしぎ……

にわのかぼちゃが すてきなばしやに、

ねずみたちが うまと ぎよしやに かわりました。

もうひとふりすると、シンデレラは

すてきなドレスすがたに かわりました。



おしろにつくとひろまには  
たくさんのきかざったむすめたちがあつまっていました。  
おうじさまはシンデレラをひとめみるなり  
ダンスをもうしこみました。  
あつまったむすめたちは、

「あのうつくしいかたはどこのどなたなの？」

「知らないわ……」

「おうじさまはあのかたにむちゅうだわ」



「でも、あのこ、  
どこかでみたようなきがするけど、  
どこでみたのかしら……」

